

第3回

夢みた未来はすぐそこに。  
「生命、宇宙、ロボットの科学で未来を拓く」

東北大学の先生たちと楽しく科学を学ぼう！

東北大学創立100周年を記念し、読売新聞東京本社との共催で、東北大学の研究成果にふれることができる特別講座を開催します。友だちと、ご家族といっしょに、ふるってご参加ください。

第3回のテーマは「生命・宇宙・ロボット」です。それぞれ40分の講演のあと、質疑応答タイムがあります。

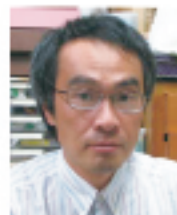


- 日時：2007年11月18日(日)午後1時開会  
午後0時30分開場(午後4時30分終了予定) 定員200名
- 場所：仙台市科学館2階特別展示室 仙台市青葉区台原森林公園4-1  
TEL 022-276-2201
- 入場無料 ※下記要領でお申し込みください。お申し込み多数の場合抽選となります。
- 主な対象 中高生(親子でのご参加も歓迎です。)

1 「生命の多様性を未来に伝えるために」

東北大学大学院生命科学研究科准教授  
千葉 聡 CHIBA Satoshi

驚くほど多彩な生命があふれている地球。私たち地球上の生物は、どこから来てどこへ行くのでしょうか？ この謎を解くカギが「進化」です。講演では、昆虫とカタツムリを例に、進化とは何かについて説明するほか、生物の多様性を未来に残すことの大切さや、そのための方法などをお話します。進化に関する知識をもとに、失われた自然を再生し、人と自然が共存できる世界を作る取り組みも紹介します。



【講師略歴】  
東京大理学部卒。静岡大理学部助手、英国ノッティンガム大客員研究員、静岡大理学部助教授を経て、2000年から東北大学大学院生命科学研究科助教授(現・准教授)。専門は生態学、進化生物学。



提供 三菱重工株式会社

2 「オーロラにはじまる宇宙科学の最前線」

東北大学大学院理学研究科教授  
小野 高幸 ONO Takayuki

宇宙の神秘を代表する現象「オーロラ」。オーロラの謎を知りたいという研究者の願いは、オーロラ研究にとどまらず、地球周辺の宇宙空間の研究に広がっています。現在、地球の周辺や惑星を観測する人工衛星が活躍し、今後もさまざまな人工衛星が打ち上げられる予定です。講演では、解明されたオーロラの謎をはじめ、惑星探査などの研究から人類が何をしようとしているのかについて紹介します。



【講師略歴】  
東北大理学部卒。国立極地研究所助手、助教などを経て、1994年から東北大学助教授、2000年から現職。9月に打ち上げられた月探査衛星「かぐや」の月レーザーサウンダー機器責任者などを務める。

3 「ダンスロボットのしくみ」

東北大学大学院工学研究科教授  
小菅 一弘 KOSUGE Kazuhiro

ヒューマノイド(人間型)ロボットを始め、人間の良きパートナーとして活躍するロボットへの夢はますます膨らんでいます。そのためには、まだまだ挑戦しなければならない多くの課題があります。私たちが開発し、愛知万博などで出展して有名になったダンスパートナーロボットは人間と協調して踊ることができるロボットです。講演では、こうした技術が、将来どのように利用できるかについて皆さんと考えます。



【講師略歴】  
東京工業大工学部卒。日本電装(現・デンソー)、日立助手、米国マサチューセッツ工科大客員研究員、名古屋大助教授を経て、1995年から東北大学教授。人と共存、共生するロボットなどの研究を行っている。



- お申し込み方法  
「住所・氏名・職業・年齢・電話番号」を明記し、ハガキかFAXでお申し込み下さい。折り返し入場整理券を郵送します。  
○ハガキ宛先 〒980-0021 仙台市青葉区中央2-3-6 読売仙台ビル3階 読売新聞東北総局 「市民のためのサイエンス講座」係  
○FAX 送付先 022-222-8386
- お申し込み締切 11月8日(木)消印有効
- お問い合わせ 読売新聞東北総局 TEL 022-222-4121